

[RICOH Printing Solution] IPSiO シリーズ導入事例

「IPSiO SP C301SF」により店舗のOA機器を1台に集約し、事務スペースもすっきり!

オリジナルの手作りメニューやPOPをスピーディーに作成できる
コンパクトで多機能なコミュニケーションツールが各店舗において活躍。



お客様の取り組み/導入の背景

喜びを感じられるレストランを目指し、
お客様へ最良のサービスをご提供するために。

「Joy of Living (お客様に生きている喜びを感じていただけるレストランを目指して)」をスローガンに、全国で店舗展開している株式会社サッポロライオン様。日本初となるビアホールを開店して以来、生ビールを中心とした食文化の向上と地域社会の発展に努め、今日では幅広い業態の店舗運営を行っている日本外食産業界のパイオニアである。その店舗数はざっと200を数え、最近では個性豊かな樽生エビスビールの全ラインナップと料理のマリアージュが楽しめる「YEBISU BAR」をオープンするなど、新業態の展開も積極的に行っている。そんな同社では、各店舗でその土地の旬の素材を用いた料理メニューや毎日のおすすめメニューを提供するなど、お客様に最良のサービスを提供するという考え方が様々な面で根付いている。それらの取り組みはメニューやPOP等の形となってお客様へ伝えられ、各店舗でドキュメントを作成するために、カラープリンターをはじめとしたOAツールが欠かせないものとなっている。



課題

開店準備の効率を妨げていたメニューや販促物の印刷作業と、
手狭な店舗事務スペースを圧迫していた複数のOA機器。

■メニューやPOP作成では、印刷スピードと画像品質に不満が多かった
店舗でメニューやPOPを作成する際は、従来1ドラム方式のカラーレーザープリンターを使用するか、スペース的に設置できない場合はインクジェットプリンターを使用していた。どちらもカラーの印刷スピードが遅く、開店準備の中で印刷に費やす時間が他の作業を圧迫することもあった。また、インクジェットプリンターは印刷した紙がインクの水分で反ってしまうなど、品質面での問題もあった。

■狭いスペースに複数のOA機器

電子メールの普及により、ファクスの使用頻度は減少してきた。しかし、年配の方を中心にファクスによる情報送信を望まれるケースや、消耗品の発注書をファクス送信するなどの業務も残っていることから、撤去できない。ファクスやプリンターなど複数の機器とそれらの消耗品が、店舗の事務スペースの多くを占有していた。

■煩雑で手間のかかる消耗品の交換と管理

ファクスとプリンターは、機器ごとに専用の消耗品が必要となる。特にカラーレーザープリンターの消耗品はトナーだけでなく感光体やドラムユニットも必要だ。ストックするスペースに加え、交換作業も面倒なため、店舗スタッフのストレスとなっていた。

解決

コンパクトで高性能な複合機の導入で、省スペースを実現。さらにカラー印刷の生産性も大幅に向上。

■**タンデム方式でカラー /モノクロ毎分20枚の高速印刷環境を構築**
大きく・カラー印刷スピードの遅い1ドラム方式のカラーレーザープリンターや、印刷品質にも課題があったインクジェットプリンターは、4色を1工程で処理するタンデム方式を採用し、高速印刷を実現した『SP C301SF』に入れ替えた。それにより、メニューやPOPを作成する作業時間の大幅短縮を実現した。

東京・銀座七丁目にある入母屋 別邸も、『SP C301SF』を導入した店舗の一つだ。同店では、お客様が飽きないよう日々メニューの更新に力を入れている。店舗内で印刷するのは、「月替わり/日替わりメニュー」



など。ここで、『SP C301SF』の特長であるカラー20枚/分という高速カラー印刷スピードが役立っている。「ワンポイントでカラーの挿絵や罫線を入れるなど、カラー効果をうまく活用したメニュー作りを心がけています。また、手作りのメニューをPCで開店前に作成し

ていますが、以前と比べて印刷が確実に速くなりました。開店前の作業時間の短縮は助かっていますね」(店長 鈴木 優子様)

■狭い店舗事務所のスペースの有効活用が可能に

今回各店舗では、ファクスやプリンターの入れ替えタイミングで、複数あるOA機器を『SP C301SF』1台に集約。これにより、機器本体と消耗品が占めていたスペースを大幅に削減することができた。「店舗の事務スペースやバックヤードは、とても狭い空間に様々な物が置かれています。

『SP C301SF』は複合機なのにも関わらず、とてもコンパクトに設計されていることが最大の魅力です。また前面開口なので、省スペースでの設置が行えますし、消耗品の交換や紙詰まりへの



対応などのメンテナンス作業が楽なことも機器選定のポイントでした」(情報システム室長 安室 良二様)

■機器の集約により、消耗品の点数も大幅に削減

従来は機器ごとにバラバラの消耗品を管理する必要があったが、複合機である『SP C301SF』の導入により、1機種のトナーカートリッジのみの管理になった。また、トナーと感光体が一体型のオールインワントナーカートリッジにより、消耗品の点数も大きく削減された。「本体もトナーもコンパクトで、何よりいろいろな機器の消耗品をそれぞれ保管する必要が無く、場所をとらないのがいいですね」(鈴木様)

今後の展望

A4カラー複合機による機器集約を加速させ、さらに機器活用による業績向上にも繋げていきたい。

『SP C301SF』の導入によって店舗のOA機器は1台に集約が可能となったが、複合機導入のメリットは別にもあった。

「よりお客様の目を引くメニューや販促物の作成に向けて、今は複合機のカラーレスキャナー機能に注目しています。パソコン操作に不慣れな従業員でも簡単にカラーレスキャナーを使うことができる『スキャン to フォルダー』や『スキャン to E-mail』の機能を、ITツールとしてうまく生かしていきたいですね」(安室様)と、今後も導入機器を積極的に活用し、よりお客様とのコミュニケーションを高めるための手段を模索している。

お客様の声

店舗を全国展開している当社にとって、リコーのサポート体制は安心できます。

株式会社サッポロライオン 情報システム室長 安室 良二様



リコーの複合機は故障率も低く、カラートナーがなくなってもモノクロの印刷を継続できることや、ランニングコストを含めたコストパフォーマンスにも満足しています。当社は全国展開しておりますので、リコーの全国的なサポート体制は大変安心できます。

お客様との大事なコミュニケーションツールを作成する『SP C301SF』は必要不可欠です。

和食・うま酒 入母屋別邸 銀座七丁目店 店長 鈴木 優子様



手作りメニューを接客にお客様とのコミュニケーション向上を図るなど、心を込めたサービスに努めています。大事なコミュニケーションツールを作成する機器として『SP C301SF』は必要不可欠となっています。また、メニュー作成のための画像取り込みや店舗のワークフロー改善には、紙の電子保存が行えるスキャナーを活用して、より一層の業務改善にも役立てたいと考えています。

お客様プロフィール

株式会社サッポロライオン

■事業内容：総合レストランチェーン

■創業：1899年8月4日

■従業員数：2,859名(アルバイトを含む)

※平成20年度12月期

■本社所在地：

東京都中央区日本橋本町2-6-3 小西ビル

■URL：http://www.ginzalion.jp

■導入セクション：全国の各店舗

■導入機器：IPSiO SP C301SF



株式会社リコー 東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/>

お客様相談センター

リコー製品に関するお問い合わせは「お客様相談センター」で承っております。フリーダイヤルでお気軽にどうぞ。

FreeDial 0120-000-475

●受付時間：平日(月～金)9時～18時 / 土曜日9時～12時、13時～17時(日、祝祭日、弊社休業日を除く)

※通話料は無料です。

※音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュボタンでお知らせください。

トーン信号が出せない電話機でお掛けの場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。

■リコーにご提供いただいたお客様の個人情報の取り扱い方針については、当社ホームページでご確認いただけます。

本情報は、2010年3月23日現在のものです。

●お問い合わせ・ご用命は…